

給食だより

令和 8 年 1 月 号
佐倉市立下志津小学校

☆うちのひとといっしょによみましょう。

新しい年を迎えました。皆さんはどんな冬休みを過ごしましたか？

1月はお正月に始まり、七草や鏡開きと良運、健康を願う食の風習がある月です。また1月24日～30日は全国学校給食週間です。ご家庭でも「食と健康」に目を向け、ぜひお子様とお話いただければと思います。

本年も、おいしい給食を届けられるように、スタッフ一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

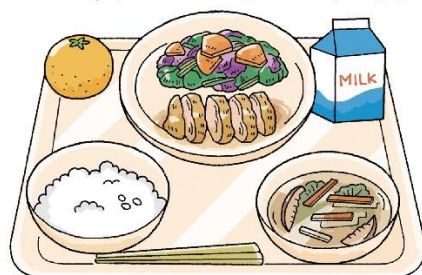
日本の学校給食

日本の学校給食は、明治22年（1889年）に山形県の私立忠愛小学校で、貧しくて昼食を用意できない子どものために、無償で提供されたのが始まりといわれています。その後、戦争などで一時中断しましたが、第二次世界大戦後に再開されました。

現在の給食は、栄養バランスのよい食事で成長期にある子どもたちの健やかな成長を支え、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。



給食は生きた教材



給食の時間では、準備から片づけの実際の活動をくりかえし行うことで、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけることができます。

学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために重要な役割を果たしています。

全国学校給食週間は、このような学校給食の意義や役割についての理解を深めて、関心を高めるための取り組みです。

～食育の様子～

【6年生 家庭科】

家庭科「1食分の食事を考えよう。」ということで、給食の献立を作成しました。

3月の給食に代表児童の作成した献立が登場します。楽しみにしてください。



【2年生 生活科 元気にっしゃを走らせよう】

食べ物は体内での働きによって3つのグループに分けられることを学びました。



～給食室の様子～ 「コロッケ」「アップルパイ」全て1からの手作りをしています。おいしかったかな？

